



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス
 コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (CEO) (氏名) 山野 義友

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 岡田 充弘

TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|------|------|------|-----|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第3四半期 | 10,246 | 1.7 | 31 | | 31 | | 92 | |
| 2019年3月期第3四半期 | 10,426 | 7.4 | 116 | 29.4 | 139 | 0.2 | 67 | 86.3 |

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 112百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 101百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第3四半期 | 2.74 | |
| 2019年3月期第3四半期 | 1.99 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年3月期第3四半期 | 7,727 | 1,282 | 16.6 |
| 2019年3月期 | 7,154 | 1,511 | 21.1 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,282百万円 2019年3月期 1,511百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | | 0.00 | | 2.00 | 2.00 |
| 2020年3月期 | | 0.00 | | | |
| 2020年3月期(予想) | | | | 2.00 | 2.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 14,100 | 0.0 | 200 | 18.4 | 190 | 28.5 | 100 | 29.1 | 2.97 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
特定子会社には該当いたしません、株式会社L.B.Gを当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年3月期3Q | 34,497,058 株 | 2019年3月期 | 34,497,058 株 |
| 期末自己株式数 | 2020年3月期3Q | 956,869 株 | 2019年3月期 | 456,869 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年3月期3Q | 33,637,075 株 | 2019年3月期3Q | 34,040,189 株 |

当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。また1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、決算補足説明資料を、この決算短信公表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (企業結合等関係) | 11 |
| (追加情報) | 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益の改善や雇用環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調が続きましたが、米中経済摩擦の長期化や英国のEU離脱問題等の不確実性の高まりもあり、先行き不透明な状況で推移しました。

個人消費においても、消費増税や相次ぐ自然災害の影響もあり消費者の節約志向は依然として根強く、厳しい環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは「ソフトと価値の提供」によって既存顧客との信頼関係強化に努める一方で、当社グループの成長戦略の柱であるM&Aを積極推進し、当第3四半期において美容室15店舗の経営を行う株式会社L. B. Gを連結子会社化し、また株式会社かのこより、呉服・和装小物小売店舗8店舗の譲受けを実施し、既存事業の強化を行いました。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては、M&Aによる店舗数増加に伴う増収はあったものの、消費増税前の駆け込み需要の反動影響やDSM事業での売上不振があったこともあり、102億46百万円（前年同期比1.7%減）となりました。利益面では、美容事業においては増益となりましたが、和装宝飾事業において、連結子会社において合同展示販売会の開催時期を変更したことによる販促費増加の影響や当第3四半期に実施した事業譲受店舗における引渡未了による影響があったこと、また、M&A実施によって取得関連費用の計上やのれん償却額の増加等があり、営業損失31百万円（前年同期は営業利益1億16百万円）、経常損失31百万円（前年同期は経常利益1億39百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失92百万円（前年同期は四半期純利益67百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

・美容事業

美容事業においては、消費増税前の駆け込み需要の反動影響は若干ありましたが、既存美容事業において商品販売強化や前第2四半期に子会社となった株式会社みうら及び当第3四半期に子会社となった株式会社L. B. Gの寄与もあり、売上高は15億89百万円（前年同期比5.7%増）となりました。利益面では、株式会社みうらの寄与に加え、既存美容事業での賃料等の固定費や販促経費の削減に努めた結果、セグメント利益は29百万円（前年同期比245.8%増）となりました。

・和装宝飾事業

和装宝飾事業においては、2019年11月29日付で「株式会社かのこ」より和装小売店舗8店舗を事業譲受いたしました。引渡未了のため当該譲受による売上高への寄与は第4四半期からとなり、当第3四半期は経費のみが先行して計上されること、また連結子会社において合同展示販売会の実施時期を変更したことによる販促費増加影響があったこと等により、売上高は75億56百万円（前年同期比1.0%減）となり、セグメント利益は37百万円（前年同期比70.6%減）となりました。

・DSM事業

DSM事業においては、当第2四半期より事業の管理運営体制の大幅な見直しを実施しましたが、新規顧客の獲得や販売員補強は依然厳しい状況が続いております。また事業所数が前年同期比で8拠点減少した影響もあり、売上高は10億93百万円（前年同期比15.1%減）となり、セグメント損失30百万円（前年同期はセグメント利益0百万円）となりました。

・その他の事業

その他の事業の収益は、株式会社ヤマノセイビングの前払い式特定取引業による手数料収益及び一般社団法人日本技術技能教育協会の着物着付教室の運営収益であり、売上高は6百万円（前年同期比26.4%増）、セグメント損失は6百万円（前年同期はセグメント損失4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて5億73百万円増加し77億27百万円となりました。集金保証型ショッピングクレジットの取扱い増加に伴う影響として、現金及び預金が3億46百万円減少、受取手形及び売掛金が4億53百万円増加、また美容事業での連結子会社取得及び和装宝飾事業での事業譲受実施による影響として、商品及び製品が1億80百万円増加、有形固定資産が1億61百万円増加、無形固定資産が1億19百万円増加、敷金及び保証金が39百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて8億1百万円増加し64億44百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が67百万円増加、短期借入金が3億60百万円増加、1年以内返済予定長期借入金が2億32百万円減少、未払金が1億60百万円増加し、長期借入金が5億4百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億28百万円減少し12億82百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金92百万円の減少、剰余金の配当68百万円、自己株式の取得47百万円、その他有価証券評価差額金20百万円の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年11月8日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,416,632 | 2,070,166 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,519,573 | 1,972,866 |
| 商品及び製品 | 1,309,830 | 1,490,696 |
| 原材料及び貯蔵品 | - | 6,460 |
| その他 | 231,325 | 214,968 |
| 貸倒引当金 | △17,694 | △20,704 |
| 流動資産合計 | 5,459,666 | 5,734,454 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 958,598 | 1,089,220 |
| 減価償却累計額 | △668,803 | △665,546 |
| 建物及び構築物(純額) | 289,794 | 423,674 |
| 車両運搬具 | - | 9,188 |
| 減価償却累計額 | - | △4,399 |
| 車両運搬具(純額) | - | 4,789 |
| 工具、器具及び備品 | 209,934 | 228,109 |
| 減価償却累計額 | △184,613 | △192,745 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 25,320 | 35,363 |
| 土地 | 37,411 | 25,211 |
| リース資産 | 47,186 | 68,755 |
| 減価償却累計額 | △29,150 | △31,458 |
| リース資産(純額) | 18,035 | 37,297 |
| 建設仮勘定 | - | 6,200 |
| 有形固定資産合計 | 370,563 | 532,536 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 117,486 | 237,987 |
| その他 | 10,436 | 9,417 |
| 無形固定資産合計 | 127,923 | 247,404 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 244,296 | 213,103 |
| 長期貸付金 | 6,371 | 5,590 |
| 繰延税金資産 | 15,859 | 23,645 |
| 敷金及び保証金 | 901,643 | 941,363 |
| その他 | 42,631 | 43,845 |
| 貸倒引当金 | △14,467 | △14,290 |
| 投資その他の資産合計 | 1,196,335 | 1,213,257 |
| 固定資産合計 | 1,694,821 | 1,993,198 |
| 資産合計 | 7,154,488 | 7,727,652 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,608,872 | 1,676,697 |
| 電子記録債務 | 289,002 | 249,808 |
| 短期借入金 | 280,000 | 640,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 22,400 | 17,400 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 453,204 | 220,268 |
| 未払金 | 482,019 | 642,389 |
| 前受金 | 1,566,377 | 1,504,468 |
| 未払法人税等 | 26,248 | 21,081 |
| 賞与引当金 | 89,920 | 74,230 |
| ポイント引当金 | 33,373 | 27,639 |
| 株主優待引当金 | 5,459 | 5,459 |
| 資産除去債務 | 11,596 | 3,850 |
| その他 | 235,189 | 273,937 |
| 流動負債合計 | 5,103,662 | 5,357,230 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 27,000 | 9,600 |
| 長期借入金 | 105,460 | 609,494 |
| 長期末払金 | 85,439 | 82,755 |
| 役員株式給付引当金 | 18,620 | 18,620 |
| 繰延税金負債 | 6,083 | 13,162 |
| 資産除去債務 | 260,476 | 298,656 |
| その他 | 36,417 | 55,271 |
| 固定負債合計 | 539,498 | 1,087,560 |
| 負債合計 | 5,643,161 | 6,444,790 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 100,000 |
| 資本剰余金 | 979 | 979 |
| 利益剰余金 | 1,435,749 | 1,275,093 |
| 自己株式 | △53,988 | △101,553 |
| 株主資本合計 | 1,482,741 | 1,274,519 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 28,585 | 8,342 |
| その他の包括利益累計額合計 | 28,585 | 8,342 |
| 非支配株主持分 | - | - |
| 純資産合計 | 1,511,326 | 1,282,862 |
| 負債純資産合計 | 7,154,488 | 7,727,652 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 10,426,383 | 10,246,420 |
| 売上原価 | 4,995,366 | 4,930,357 |
| 売上総利益 | 5,431,017 | 5,316,062 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,314,550 | 5,347,944 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 116,466 | △31,882 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 2,930 | 2,176 |
| 受取地代家賃 | 1,594 | 1,314 |
| 受取補償金 | 25,735 | - |
| 助成金収入 | 100 | 5,928 |
| その他 | 5,487 | 4,217 |
| 営業外収益合計 | 35,848 | 13,636 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,777 | 7,190 |
| 障害者雇用納付金 | 2,400 | 2,900 |
| その他 | 4,785 | 3,314 |
| 営業外費用合計 | 12,963 | 13,405 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 139,350 | △31,651 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 300 |
| 特別利益合計 | - | 300 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 13 | 869 |
| 減損損失 | 3,367 | 2,070 |
| 固定資産撤去費用 | - | 4,665 |
| 転籍一時金 | - | 11,129 |
| 支払補償金 | 14,501 | - |
| 店舗閉鎖損失 | 1,909 | 961 |
| その他 | 650 | - |
| 特別損失合計 | 20,442 | 19,696 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 118,908 | △51,048 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 50,903 | 38,637 |
| 法人税等調整額 | 321 | 2,562 |
| 法人税等合計 | 51,224 | 41,199 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 67,683 | △92,247 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 67,683 | △92,247 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 67,683 | △92,247 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △169,673 | △20,242 |
| その他の包括利益合計 | △169,673 | △20,242 |
| 四半期包括利益 | △101,990 | △112,490 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △101,990 | △112,490 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

2019年5月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が47,565千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が101,553千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 美容 | 和装宝飾 | D S M | 計 |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,503,443 | 7,630,211 | 1,287,746 | 10,421,402 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 18 | — | — | 18 |
| 計 | 1,503,461 | 7,630,211 | 1,287,746 | 10,421,420 |
| セグメント利益又は損失(△) | 8,586 | 128,388 | 404 | 137,379 |

| | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,981 | 10,426,383 | — | 10,426,383 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 8,880 | 8,898 | △8,898 | — |
| 計 | 13,862 | 10,435,282 | △8,898 | 10,426,383 |
| セグメント利益又は損失(△) | △4,690 | 132,689 | △16,223 | 116,466 |

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△16,223千円には、のれんの償却費△38,633千円、各報告セグメントに配分していない全社費用22,410千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

| | 美容 | 和装宝飾 | D S M | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|
| 減損損失 | 2,112 | 1,254 | — | — | — | 3,367 |

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、有限会社みうらの株式を取得し当社の子会社としたことに伴い、「美容事業」セグメントにおいてのれんが44,336千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 美容 | 和装宝飾 | D S M | 計 |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,589,556 | 7,556,738 | 1,093,827 | 10,240,122 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 48 | — | — | 48 |
| 計 | 1,589,604 | 7,556,738 | 1,093,827 | 10,240,170 |
| セグメント利益又は損失(△) | 29,693 | 37,697 | △30,787 | 36,603 |

| | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,297 | 10,246,420 | — | 10,246,420 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 7,533 | 7,581 | △7,581 | — |
| 計 | 13,831 | 10,254,001 | △7,581 | 10,246,420 |
| セグメント利益又は損失(△) | △6,969 | 29,634 | △61,516 | △31,882 |

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△61,516千円には、のれんの償却費△44,785千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△16,714千円及び棚卸資産の調整額△16千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

| | 美容 | 和装宝飾 | D S M | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|----|-------|-------|-----|-------|-------|
| 減損損失 | — | 2,070 | — | — | — | 2,070 |

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、株式会社L. B. Gの株式を取得し当社の子会社としたことに伴い、「美容事業」セグメントにおいてのれんが165,286千円増加しております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2019年8月21日開催の取締役会において、株式会社L. B. Gの株式を取得することを決議し、2019年10月1日付で取得いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社L. B. G
事業の内容 美容室の経営

② 企業結合を行った主な理由

美容事業の業容拡大のため

③ 企業結合日

2019年10月1日

④ 企業結合の法的形式

対価を現金等の財産のみとする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

株式会社L. B. G

⑥ 取得した議決権比率

52%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とする株式取得により、株式会社L. B. G議決権の52%を取得したためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績期間

2019年10月1日から2019年11月30日

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | |
|-------|--------|-----------|
| 取得の対価 | 現金及び預金 | 104,000千円 |
| 取得原価 | | 104,000 |

(4) 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザー等に対する報酬・手数料 26,000千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額 165,286千円

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

③ 償却方法及び償却期間

7年間にわたる均等償却

(事業譲受)

当社は、2019年11月29日開催の取締役会において、株式会社かこのから、事業の一部を譲り受けることを決議の上、事業譲渡契約を締結し、同日付で事業を譲受けました。

(1) 事業譲受の概要

① 相手企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称： 株式会社かこの

事業の内容： 和装品等の販売

② 企業結合を行った主な理由

当社が株式会社かこのの運営する一部店舗を譲り受け、当社の経営管理・店舗管理ノウハウを当該店舗運営に導入することで譲受店舗の収益改善を図るとともに、当社グループの和装小売事業における新規顧客の獲得、販路拡大を図ることで企業価値の向上を目指すものであります。

③ 企業結合日

2019年11月29日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業の譲受け

⑤ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とする事業の譲受けを行ったためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

2019年11月29日から2019年12月31日まで

(3) 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | |
|-------|--------|----------|
| 取得の対価 | 現金及び預金 | 25,417千円 |
| 取得原価 | | 25,417 |

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額 50千円

② 発生原因

取得原価が受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

③ 償却方法及び償却期間

金額が僅少のため一括償却しております。

(追加情報)

当社は、2019年12月20日開催の取締役会において、株式会社マンツーマンアカデミーの株式取得により子会社化することについて決議しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社マンツーマンアカデミー
事業の内容 学習塾の経営

② 企業結合を行う主な理由

既存事業以外のマーケットにおいて新規事業の開拓を進め、当社グループの収益拡大を目指すため

③ 企業結合日

2020年3月2日(予定)

④ 企業結合の法的形式

対価を現金等の財産のみとする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

株式会社マンツーマンアカデミー

⑥ 取得する議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とする株式取得により、株式会社マンツーマンアカデミー議決権の100%を取得するためであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | |
|-------|--------|-----------|
| 取得の対価 | 現金及び預金 | 470,000千円 |
| 取得原価 | | 470,000 |

(3) 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザー等に対する報酬・手数料(概算額) 23,000千円